

サンプルです。実在の事件の内容とは一切関係ありません。

2016年△月×日

報 告 書	
○○ ○○ 様	〒 231-0023 横浜市中区山下町 70 番地 3 三井住友海上横浜ビル 7 階 Tel:045-227-2238 Fax:045-227-2239 弁護士 伴 広 樹 弁護士 清 水 茂
件 名	
東京地方裁判所 平成△△年 (り) 第×××号 慰謝料請求事件	
裁 判 日	2016年△月×日 (水)
今回の裁判のご報告事項	<ol style="list-style-type: none">第2回目の裁判期日が開かれました。 今回の期日で相手方は同封の主張書面を提出し、不倫の当時、○○さんが原告と結婚していることを知らず独身だと思っていたという主張をしてきました。 しかし、相手方は不倫の初期の頃に○○さんに「××××××」というメールを送信しており、既婚だと知らなかったというのは明らかに矛盾です。そこで裁判所にメールを証拠提出し、相手方が虚偽の主張をしていることを明確にします。また次回期日までに、当方が請求している慰謝料の金額を裏付けるため、不倫以前は家庭が円満だったこと、不倫によって家庭が崩壊してしまったこと、子ども達への影響、これまでの相手方の嫌がらせ行為などを詳細に記載した主張書面を提出します。○月中旬に主張書面を作成するための打ち合わせをお願いいたします。この報告書が届いた頃にこちらからお電話をいたしますので、日程を調整させて下さい。
提出書類等	<ol style="list-style-type: none">当方提出分 (同封) 証拠説明書 (2016.○.○付)相手方提出分 (同封) 被告準備書面 1 (2016.○.○付)
次回の裁判日	2016年○月○日 (水) PM3時
次回裁判へのご出席の必要	出席の必要はありません。